



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月31日

上場会社名 アイエーグループ 株式会社 上場取引所 東
コード番号 7509 URL <https://www.ia-group.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 隆太郎
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 岡野 良信 TEL 045-821-7500
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	28,255	3.4	1,466	△4.8	1,544	△4.9	957	△9.7
2024年3月期第3四半期	27,321	1.1	1,540	9.8	1,624	8.9	1,060	9.0

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 983百万円 (△10.5%) 2024年3月期第3四半期 1,099百万円 (7.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	659.06	—
2024年3月期第3四半期	730.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	30,197	15,419	50.5
2024年3月期	27,780	14,668	52.3

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 15,241百万円 2024年3月期 14,521百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	60.00	—	100.00	160.00
2025年3月期	—	60.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,500	2.3	1,600	△13.2	1,700	△13.0	1,100	△18.0	757.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	1,645,360株	2024年3月期	1,645,360株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	193,059株	2024年3月期	193,017株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	1,452,339株	2024年3月期3Q	1,452,385株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境の緩やかな持ち直しの動きが見られました。一方で、急激な物価上昇は落ち着きを見せているものの、不安定な国際情勢や諸外国の金融政策に伴う為替の変動等により消費マインドの動向を注視する必要があり、今後の国内経済の見通しは不透明な状況が続いております。

そのようななか、当社グループにおいては基幹事業であるカー用品事業は増収増益、ブライダル事業は減収減益となり、建設不動産事業は減収減益となりました。

なお、セグメント別の状況は以下の通りとなります。売上高につきましてはセグメント情報等の外部顧客への売上高を基準としております。

(カー用品事業)

商品売上において、タイヤ販売のほかオイル・バッテリーが堅調に推移しました。収益性の高いピットサービス部門もタイヤ交換工賃を軸に順調に推移し、車の出張買取等の施策を強化した車両販売は、堅調な需要と安定した相場により前年および計画を上回る推移をいたしました。また、当第3四半期会計期間における冬季商材の動きも好調であった結果、前年同期と比べ増収増益となりました。

(ブライダル事業)

当第3四半期会計期間における婚礼実施数が前年同期を下回り、列席者数の増加に伴う婚礼単価の上昇と、婚礼施設を活用した法人宴会等の飲食売上の増加により補いきれず、前年同期と比べ減収減益となりました。

(建設不動産事業)

保有する不動産物件の戦略的な売却と収益性を重視した優良賃貸物件の賃貸稼働率の向上に努めましたが、前第3四半期会計期間において収益性の高い不動産物件売却をしていた為、前年同期と比べ減収減益となりました。

(その他の事業)

2024年3月期第4四半期会計期間において、コマダ事業を譲渡したことから売上高は減少いたしました。利益面においては、販売費及び一般管理費の低減に努めた結果、前年同期と比べ減収増益となりました。

(総括)

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は28,255百万円（前年同期比3.4%増）となり、営業利益につきましては1,466百万円（前年同期比4.8%減）、経常利益につきましては1,544百万円（前年同期比4.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては957百万円（前年同期比9.7%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は30,197百万円となり、前連結会計年度末と比べ2,416百万円増加しました。

a. 流動資産

流動資産残高は、13,957百万円（前連結会計年度末比2,647百万円増）となりました。主な増加要因は棚卸資産の増加（1,143百万円増）であります。

b. 固定資産

固定資産残高は、16,239百万円（前連結会計年度末比231百万円減）となりました。主な減少要因は、建物及び構築物の減少（154百万円減）であります。

c. 流動負債

流動負債残高は、9,781百万円（前連結会計年度末比1,348百万円増）となりました。主な増加要因は、買掛金の増加（730百万円増）であります。

d. 固定負債

固定負債残高は、4,996百万円（前連結会計年度末比316百万円増）となりました。主な増加要因は、長期借入金の増加（302百万円増）であります。

e. 純資産

純資産残高は、15,419百万円（前連結会計年度末比751百万円増）となりました。主な増加要因は、利益剰余金の増加（724百万円増）であります。

自己資本比率は、50.5%となり前連結会計年度末比1.8ポイントの減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2024年5月10日の発表から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,413,649	1,639,824
売掛金	1,779,045	2,802,632
棚卸資産	7,413,775	8,556,919
その他	703,826	958,241
貸倒引当金	△501	—
流動資産合計	11,309,795	13,957,617
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,346,440	4,191,628
土地	6,909,198	6,909,198
リース資産(純額)	50,608	46,777
建設仮勘定	—	3,300
その他(純額)	502,162	509,180
有形固定資産合計	11,808,410	11,660,085
無形固定資産		
電話加入権	9,032	9,032
その他	142,180	118,249
無形固定資産合計	151,212	127,281
投資その他の資産		
投資有価証券	115,870	107,261
長期貸付金	18,290	17,608
長期前払費用	148,285	178,747
差入保証金	2,607,914	2,522,205
繰延税金資産	1,549,685	1,553,686
その他	91,611	92,485
貸倒引当金	△20,207	△19,475
投資その他の資産合計	4,511,449	4,452,518
固定資産合計	16,471,072	16,239,885
資産合計	27,780,868	30,197,503

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,937,639	2,668,569
短期借入金	3,228,456	3,776,808
リース債務	16,634	17,283
未払法人税等	443,734	324,862
未払消費税等	238,290	203,837
未成工事受入金	1,500	2,890
賞与引当金	440,696	256,541
役員賞与引当金	10,200	—
その他	2,115,343	2,530,298
流動負債合計	8,432,495	9,781,091
固定負債		
長期借入金	1,954,045	2,256,142
リース債務	36,015	31,670
繰延税金負債	9,951	9,951
役員退職慰労引当金	486,614	518,376
退職給付に係る負債	593,486	613,599
資産除去債務	1,004,647	1,012,654
長期預り保証金	595,180	554,316
固定負債合計	4,679,941	4,996,711
負債合計	13,112,436	14,777,802
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,314,100	1,314,100
資本剰余金	1,824,791	1,824,791
利益剰余金	12,044,690	12,769,488
自己株式	△667,108	△667,240
株主資本合計	14,516,472	15,241,138
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,273	20,140
退職給付に係る調整累計額	△21,732	△19,388
その他の包括利益累計額合計	4,540	751
非支配株主持分	147,418	177,809
純資産合計	14,668,431	15,419,700
負債純資産合計	27,780,868	30,197,503

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	27,321,260	28,255,990
売上原価	14,894,402	14,849,283
売上総利益	12,426,857	13,406,707
販売費及び一般管理費	10,886,427	11,939,929
営業利益	1,540,429	1,466,777
営業外収益		
受取利息及び配当金	11,452	11,415
受取手数料	77,281	70,564
その他	27,095	25,474
営業外収益合計	115,829	107,455
営業外費用		
支払利息	20,621	23,581
その他	11,355	6,148
営業外費用合計	31,976	29,730
経常利益	1,624,282	1,544,502
特別利益		
固定資産売却益	869	136
受取保険差益	—	4,267
特別利益合計	869	4,404
特別損失		
固定資産除却損	1,469	360
訴訟関連損失	—	10,578
その他	18	979
特別損失合計	1,487	11,917
税金等調整前四半期純利益	1,623,664	1,536,988
法人税等	531,762	549,424
四半期純利益	1,091,901	987,564
非支配株主に帰属する四半期純利益	31,515	30,391
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,060,386	957,173

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	1,091,901	987,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,207	△6,132
退職給付に係る調整額	2,344	2,344
その他の包括利益合計	7,551	△3,788
四半期包括利益	1,099,453	983,776
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,067,938	953,384
非支配株主に係る四半期包括利益	31,515	30,391

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	560,412千円	543,769千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	22,541,456	3,155,287	1,366,685	27,063,428	257,831	27,321,260	—	27,321,260
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,890	2,507	323,084	327,482	1,048,747	1,376,229	△1,376,229	—
計	22,543,346	3,157,795	1,689,769	27,390,911	1,306,578	28,697,490	△1,376,229	27,321,260
セグメント利益	952,204	210,482	290,246	1,452,933	93,336	1,546,270	△5,840	1,540,429

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。3. 報告セグメントの変更等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	カー用品事業	プライダル 事業	建設不動産 事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	24,457,797	3,081,211	707,532	28,246,542	9,448	28,255,990	—	28,255,990
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	3,358	1,987	265,645	270,990	1,063,569	1,334,559	△1,334,559	—
計	24,461,155	3,083,198	973,177	28,517,532	1,073,018	29,590,550	△1,334,559	28,255,990
セグメント利益	1,232,218	90,015	29,966	1,352,200	117,864	1,470,065	△3,288	1,466,777

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、経理・総務代行業務等を含んでおります。

2. セグメント利益調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。3. 報告セグメントの変更等に関する情報
該当事項はありません。